



『もっと！！本野通信』

No.77

諫早市立本野小学校長 永井 洋

体験学習 1

4年生の水生物調査が、4日に行われました。学校の前を流れる本明川の生き物を調べ、川のきれいさを調査する活動です。

今年も、国土交通省の皆様にご協力いただき、実際に川に入り、生き物を採取し観察しました。10～20種類の生き物を採集し、その生き物の生息状況から「本明川上流」はきれいな川であることが分かったようです。本や教科書で学ぶことも大切ですが、このように実際に調べて結論が出ると、より記憶に残る学習になります。いつまでも「母なる川本明川」が、ふるさとの美しい川であってほしいですね。



まだまだ夏が続いています

朝夕、日の出前と日の入り後は随分過ごしやすくなっていますが、まだまだ30度を超える日が続いています。そのような中、早朝から立哨指導に立つと、帽子をかぶっていない子や水筒が見当たらない子がちらほら見られます。

教室内は、エアコンで快適ですが、外での活動では、まだまだ必要なアイテムです。準備等大変ですが、毎日の確認をお願いします。



夏休み作品展開催中です

9日より夏休み作品展が開催されています。夏休み中の子どもたちの頑張りが、それぞれの学年に応じてよく分かります。

このような長期休業中の課題への取り組みは、低学年の間は、保護者の方と一緒に、高学年に進むにつれ、少しずつ自分一人で計画的にできるようになることが理想の形です。そうは言っても、なかなか難しいところではあります。そんな時には、「全てを一人で」ではなく、「興味のある、好きな、取り組みやすい」などの課題から、「やってみよう！！」と促してみてください。少しずつ、コツや方法が分かり、楽しく活動できることが増えていくと思います。また、選択する力を身に付けさせることも重要です。「これとこれは、一人でやってみよう」「これは難しいから〇〇にヒントをもらおう」など、自らで考えることができるような力も必要です。国は、上のような力を土台として「個別最適な学び」とか「自由進度学習」を推奨しています。そのためには、これまでの一斉画一的な学びではなく（必要な場面もありますが）、よりその子に合った学び方で、学習を進める力を付けさせることが重要であると考えています。自主学習の推奨もその一つです。



作品展は、12日午前まで開催しておりますので、どうぞご参観ください。展示されている自由研究作品の中から、以下の7名の作品が入選に選ばれ、その中から3点が優秀賞(◎)として、「諫早市小中科学展」に出展されることになりました。おめでとうございます。

峰沙也加（1年：こんちゅうさいしゅう）山里立樹（◎3年：水せいペンは一色なのか実験）

高橋渚（◎4年：いろいろな雲をさがしてみよう） 山里志龍（5年：不思議熱気球のひみつ）

堤愛捺（5年：スライムに砂鉄をまぜるとどうく！） 松尾ここ（6年：マシュマロゼリー）

坂中心優（◎6年：液体の種類によって食塩の溶ける量はちがうのか？）